

広報

くりやま

2011
7
VOL.1222





栗山テニス協会 硬式テニス講習会

栗山テニス協会（玉田哲男会長）主催の「硬式テニス講習会」が6月18日から始まりました。小学生を中心に30人が参加。同協会の亀田京子さんは「技術も大事ですが、大きな声を出せるようにしよう」と参加者に呼びかけていました。



「広報くりやま」VOL.1222

平成23年7月1日

■発行／栗山町

〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252番地

Tel 0123-73-7501 Fax 0123-72-3179

ホームページアドレス

<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>

E-mail

kouhoujouhou-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

■編集／総務課広報・情報グループ

栗山町教育委員会

■印刷／山東印刷株式会社



▼伸びのびと明るく暮らすには？日出の佐藤会長は話されます。「人との関係は頭ごなしでは駄目です。誰もが言いたいことを言える環境作りが大切。人に何か伝える時は、人を介して伝えると、角がとれて伝わるようになります」と。なるほど人生の機微。普段何も言えない私は、これから（子どもを介して）対嫁に使わせてもらいます。（中野）

（渡辺）

▼「技術より声を出すことから」。硬式テニス講習会の取材に行ったときに指導者の方が子どもたちに言っていました。子どもたちは緊張気味なのかあまり声を出していませんでしたが、とても良いことだと思いました。技術よりも大事なことはたくさんあると思います。

▼今月からマナビイを担当することになりました新人原田です。私が去年までいた大分県は梅雨の真っ只中。ジメジメして気持ちの悪い日々を過ごしたのを思い出します。北海道は梅雨なんて言葉とは無縁で、カラッとした気持ちのいい日が続いています。一度、離れてみることで、気付かなかった良いところが見えてくるものですね。（原田）

編集後記